

令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式

片山大使挨拶【2022年3月23日（水）、15:30～】

日本大使として関係者の出席を歓迎申し上げます。そして、ワンカベリカ、アプリマック及びアヤクチョの地域の3件に対する総額26万米ドルを超える草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式が先ほど無事行われたことを皆様とともに喜びたいと存じます。

日本国民のペルー国民に対する心がこもったこの重要な支援により、小規模農家の食料安全保障を実現する灌漑施設が整備されます。灌漑施設は、ワンカベリカ州アコバンビヤ、アヤクチョ州サン・マルティン・デ・ティオ・パンパに整備されます。また、アプリマック州チャルワンカにおいて、障害を持つ子供たちの特別支援学級への支援として、教室、調理場及び食堂が建設されます。

ペルーにおける草の根・人間の安全保障無償資金協力は1989年に開始され、現在までに400件以上、総計3千万米ドルを超える協力を実施してきました。当該協力スキームは、資源の乏しい貧困地域を支援し、現地住民と協力しながら、より実用的かつ迅速に生活条件を改善することを目的としています。

明年、日本とペルーは外交関係を樹立して150周年を迎えます。本日署名された協力案件が、所期の目的を達成し、それを通じて両国の友好の絆が更に強化されることを祈念して、私の挨拶といたします。

有り難うございました。